

烟經(ヨンキョン)、たばこの全て
18世紀 朝鮮の喫煙文化史
李鉦著／安大會訳

序文 (本書より)

人類を男と女に分けることができるように、たばこを吸う人とたばこを吸わない人に分けてみることもできる。たばこは数世紀の間、人類の日常を支配した嗜好品の一つである。アメリカ大陸の神秘的な草から出発して、たばこは世界の数多くの人々が、楽しむ品になった。地球上の全ての国が政治や経済において一つの世界体系が形成される前から、数多くの国の人々の口と鼻からたばこの煙を出していた。韓国が属している東アジアの国々も例外ではなかった。たばこが輸入されて以降、数百年の間、たばこは韓国人の日常を支配し、生活文化の重要な一部であった。

したがって、たばこは韓国人の文化を理解する重要なコードの一つである。17世紀以来韓国人は老若男女を問わず熱烈にたばこを吸っており、自然に、産業と文化をはじめ、人間生活の全般にその跡を残していた。この神秘的なアメリカ産の草を先祖たちは南霊草と呼びながら魅惑され、多くの作品と史料を残した。伝統時代の喫煙文化を垣間見ることのできる資料もかなり豊かであり、関連遺物も数多く残っている。ただ、きちんと収集したり整理した人がいなかったため、過去の喫煙とそこから形成された興味深い文化をリアルに体験することが難しいだけである。

今から200年前、李鉦(イ・オク)は、《烟經(ヨンキョン)》という小さな本を書き、たばこが朝鮮の人の生活でどれほど大きな割合を占めているのか、また、どのように生産し、どんな道具を開発していたのか、また、喫煙がどのように人生に影響を及ぼしているのか等、多方面にわたって喫煙文化を独特な文体で記録した。常に愛してやまない人生の友としてのたばこの全てのことを記録したいという熱望で本を書いた。たばこのような単なる草が厳しい学問の対象にはなれない時代に、彼は軽快な散文でその時代の嗜好品の世界を客観的に見ようとした。彼は新たな知識を発見しそれを体系化しようと試みた。現代の文化学先駆的な様子を彼から読み取ることができる。

このような意味を持つ李鉦の著作を韓国語で訳したのがこの本である。必要な部分では訳者の解説を付け加えた。同時に喫煙と関連している昔の文献資料を探し出し韓国語で訳し解説を追加した。非喫煙者としてこの本を出す理由は、何よりも李鉦の著作に魅了されたためである。けれども、読者の皆さんが伝統時代の喫煙文化の興味深くて豊かな世界を味わう際に少しでも役に立てれば幸いである。

2008年1月明倫洞研究室にて
安大會

目次

序文	7
諸説— 18 世紀 朝鮮の喫煙文化史	15
第 1 部 烟經(ヨンキョン)、たばこの全て たばこの經典、序文(烟經序)	31
たばこの經典、第一卷(烟經一)	
序文	43
1. 種子の取り入れ	45
2. 播種	45
3. 穴を掘って植える	45
4. 苗木する(移植する)	47
5. 根をかき上げてやる	47
6. 根に肥料を与える	47
7. 藁をまく	48
8. 筍を切る	49
9. 花が咲くのを防ぐ	49
10. 害虫を除去する	50
11. 火(伝染病)に気をつける	50
12. 葉を除去する	50
13. 葉を収穫する	51
14. 葉を編む	52
15. 葉を乾燥させる	54
16. 葉に風を当てる	54
17. 土穴の中で保管する	54
たばこの經典、第二卷(烟經二)	
序文	59
1. たばこの由来	59
2. たばこを意味する文字	63
3. たばこの神	65
4. たばこの効果	68
5. たばこの性質	71
6. たばこの愛好家	71
7. 産地別の品評	74
8. たばこの鑑別	74
9. 偽たばこの弁別方	75
10. たばこの値段の比較	75
11. たばこの味の補強	76
12. たばこに水をまく	77
13. たばこの葉をのばす	78
14. たばこの葉を切る	78
15. たばこの葉を保管する	79
16. たばこの葉を雁首に詰める	81
17. たばこに火を付ける	81

18. たばこを吸う方法	82
19. 烟洞烟の紹介	84
たばこの経典、第三卷(烟經三)	
序文	87
1. たばこを切る押切りと刀	87
2. 切り方によるたばこの品質	88
3. 雁首	88
4. キセルの管	91
5. たばこ入れ	93
6. たばこの箱	97
7. たばこ盆	97
8. 火鉢	97
9. 火箸	98
10. 火刀	99
11. 火茸	100
12. 烟臺(灰皿)	101
たばこの経典、第四卷(烟經四)	
序文	105
1. たばこの使い方	106
2. たばこを吸うのに適切な時	108
3. 喫煙を禁じる時	108
4. たばこがおいしい時	112
5. たばこを吸うことが憎い時	113
6. 喫煙で時間を測る	114
7. たばこの病気	115
8. たばこの商品	117
9. 喫煙の趣	118
10. 類似喫煙	121
第2部 たばこ、その愛憎の記録	
1. たばこの煙(烟經)——李鈺(イ・オク)	129
2. 南靈の一生(南靈傳)——李鈺(イ・オク)	135
3. 淡婆姑の一生(淡婆姑傳)——林象徳(イム・サンドク)	143
4. 禁煙論を反駁する(南草答辨)——李賓國(イ・ビンクック)	149
5. 南靈草を主題に答えろ——正祖(チョンジョ)	155
6. 禁煙策を提案する(記烟茶)——李徳履(イ・ドンニ)	166
7. 淡巴菰の事情(淡巴菰説)——李顯穆(イ・ヒョンモク)	182
8. 南草の物語(南草説)——黄仁紀(ファン・インキ)	196
9. 大人と子供の倫理と、高い者と低い者の秩序が たばこにより破壊される——伊耆(ユン・キ)	204
10. たばこを礼賛する歌(煙茶賦)——任守幹(イム・スガン)	211
11. 南草歌——朴士亨(パク・サヒョン)	230
出典	236
日本語訳注	240